

# 常磐日報

發行所 社 報 三 郎  
常 磐 日 星 一 男  
發行人 酒 井 一  
編輯人 福 島 平 市 新 川 町 四



## 磐城市五四年サヨナラ市会

### 起債不足九三〇万を巡り

#### 坂部氏ら阿部課長と赤字論争

昨報第七回磐城市定例議会は定刻を一時間おくれ二〇日午前十時から開催、会期を一日として専決、など四件、議案八件などが附議されたが、午前中は起債及び償還をめぐり坂部議員阿部議員などから市財政の根本運営について質問が集中され、赤字論争、健全財政論争を展開、正午一旦休憩、午後再び審議を続け、一般質問は議案終了後にまわされた

専決處分承認、江名中学校校舎五千圓を異議なく承認し、市内にある国有農地八二〇坪のうち、二九年予算中の起債の買受(價格市長一任)十件總額二六二〇萬圓の但し予算措置事に申請する承認にともなう起債及び償還のみ、災害復舊に關する還方法についての案件、議案ノ内、館、和久、大澤、元内案第一号について坂部議員上高、紅葉七橋工事、島砂利から次の様な質疑応答が、地内、下神白地内の復旧工あつてこれを可決した、事費などの追加予算三六六坂部武勇議員阿部課長の

### 張 主

#### 疑惑は一掃されていまい

元小名濱助役長瀨三郎のけではないが、法に對する退職金問題が再び白下下に私情は禁物である。さらされようとしている。一旦市議會在これを白下長瀨氏の小名濱町に對すると議決して然るのちに再び功績を思うときにまことにこれを議する事は一事不再の原則に反し、とりわけ感ぜられる。吉田首相が彼程の権力を強引に活用してはあつたであらう。がしかし六ヶ年余、遂に部下に誹腹原則論にこだわり過ぎて本を切らされ大磯の地に世間未を轉倒する結果は決して比して世の無情を感じぬわ私に再々この問題をとりあ

現在のところ他に財源を求めざる事困難であり三十年代においてこれを操作したいと考へている。二九年度の決算は歳入が二六二〇萬で歳出が同じく二六二〇萬であるから赤字決算にはならない

### 収入を得て経費を

#### 阿部(東)議員健全財政を要望

木村議員「不足額の財政見通はあつたのか」阿部課長「殆ど不可能と思ふ。しかしあくまでも負擔しなければならぬので三〇年度で考慮したい」坂部議員「二九年度でこれの操作がつかず三〇年度に持ち越すとすれば三〇年度の事業予算にそれだけシワ寄せが起るのではないか」阿部課長「収入をみて支出を考へるので予算執行面にシワ寄せはない」坂部議員「とにかく操作技術面で出来るならば良いが赤字決算と云ふ様な不健全な財政基礎にたつて考へてはあくまでも健全な財政を要望する」

「疑惑の一掃」に責任を担つて論じて来たが、去る七ヶ月市の採扱は決して市民を納得させるものではなかつた。これは市民と云ふ名目によつてまつた疑念が一行は公正の名において許さるべき出来事ではない。私達は八十万圓をとりもたせと云ふ事ではなく市長選の法令、條例の解釋運用に對する疑惑の一掃である。市民に抱かせた政治に對する疑惑の一掃である。提出案件次の通り



お買物の計畫は  
先ず平専門店會へ

阿部東郷議員(關連質問)設八百萬、失對事業費六十必要にせまられて収入を、臨港前舗装工事百三十考へる、その結果はみな、玉川橋架橋百八十、いど云う感じを受ける、江名港修築三百五十、松これで健全財政とは云、内館修繕工事五十、泉小じがる後に經費を考へる増築百六十、計二千六百べきが至當と思ふ。市當二十萬圓)△一時借入二件局の財政に關する根本的(工場敷地買収費千五百萬)△市な見解を聞きたい(佐藤勇氏より五百萬)△市中田助役「起債などは頭初固定資産評價審査委員會條予算ではあくまでも見込例△江名鉄道に對する固定みでありその決定は年末資産税免除△市教育委員會となるのでこの様な事態事務局職員等に關する三條が出題するのであり、市例△追加予算

農委選舉人の名簿登載申請 磐城市農業委員會(委員長村上重一氏)では各農事實行組合を通じ、農業委員會委員選舉人名簿の登載申請を希望する

十二月定例市會上提案件 提出案件次の通り △専決一江名中敷地の国有農地買受、△同二九年度定例用紙に登載申請する様の債及び償還千件(道路新設

健康にまさる幸福なし!  
さんま、つかれに!  
朝に エナメルゲン  
夕に ポリグロゲン  
疲れた病氣の元一御用心下さい  
クオリと化粧品なら  
誠實本位の 關内藥舖  
平市四丁目六電話一九四〇番

豊表替の好時期!!  
本場琉球表 備後表  
上敷ゴザ うすべり  
豊材料一式  
平市五丁目二六  
岡田商店  
電話五五七番

年賀はがきの御用命は  
協榮社印刷所へ  
毎度ごひいき有難うございます  
忘年会、新年會  
商談、會合に御利用下さい  
花月屋  
富岡町 電102

